

架橋ポリエチレン管 取り扱い上のご注意



〈適合規格および名称〉

JIS K 6769 (架橋ポリエチレン管)

JIS K 6787 (水道用架橋ポリエチレン管)

JXPA 401 (暖房用架橋ポリエチレン管)

■用途

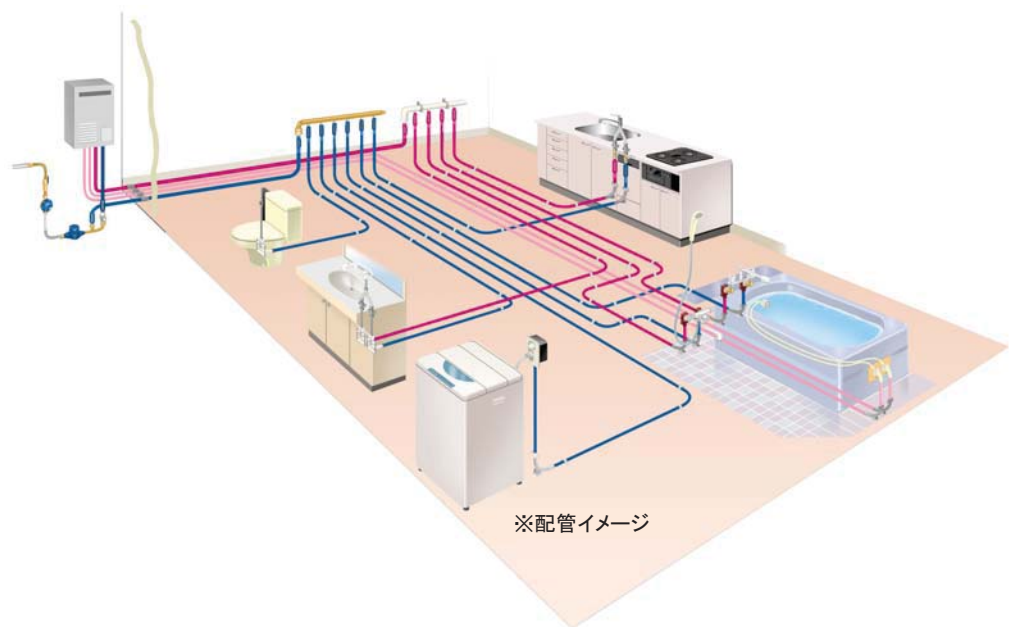
《架橋ポリエチレン管の用途をご説明します》

架橋ポリエチレン管は、下記の用途で設計されています。

給水

給湯

暖房用



代表的な架橋ポリエチレン管



架橋ポリエチレン管



さや管付
架橋ポリエチレン管



被覆付
架橋ポリエチレン管

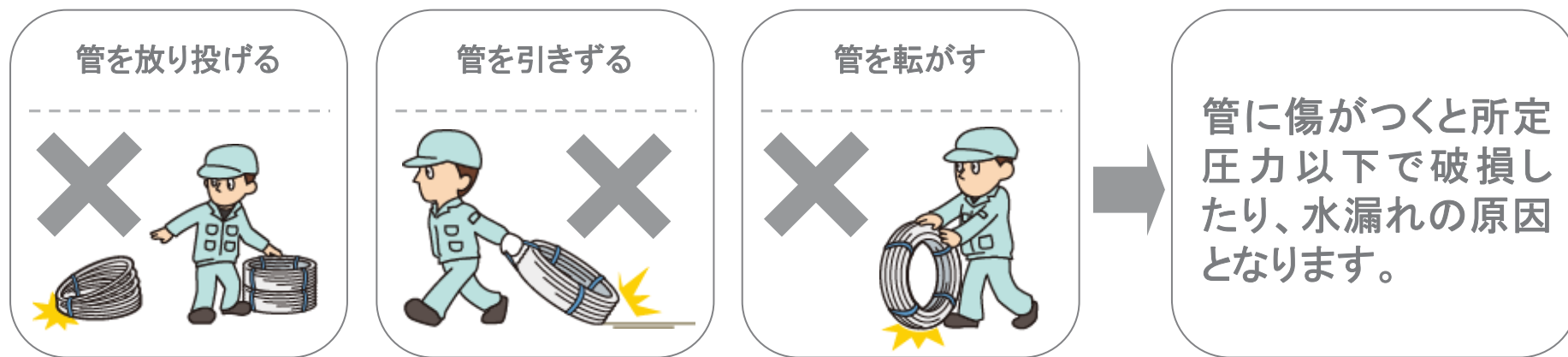
給水・給湯および暖房用以外に使用する場合は、メーカーにお問い合わせください。

■ 運搬上のご注意

《運搬上の注意事項をご説明します》

架橋ポリエチレン管は傷つきやすく、少しの傷が思わぬ不具合の原因となります。

次の行為にご注意ください。



運搬の際は、荷台などの角に管が直接当たらないように保護し、擦り傷などが発生しないように管をしっかりと固定してください。

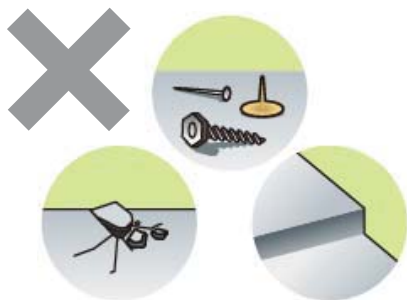
■保管上のご注意

《保管上の注意事項をご説明します》

次の行為にご注意ください。

【突起物に注意】

床の上にクギ・突起物・段差がないか確認してください。



段ボールやベニヤ等を敷き傷がつかないようにしてください。



【火気に注意】

管の付近で火気を使用しないでください。管の変形や材質劣化につながります。



【薬品に注意】

薬品の影響を受けない場所で保管してください。管の変形や材質劣化につながります。



【直射日光に注意】

直射日光を避けて保管してください。管の材質劣化につながります。



【重量物を載せない】

管の変形につながり、施工不良の原因となります。



■施工上のご注意①__最小曲げ半径

《管の最小曲げ半径について》

架橋ポリエチレン管は、指定された『最小曲げ半径』以下で施工すると、管が扁平し、流量が低下したり、管に大きな応力が残り、寿命が低下しますので、ご注意ください。

【最小曲げ半径】

管の最小曲げ半径は下表の数値以上とし
それ以上小さく曲げないこと。

呼び径	最小曲げ半径
10	150mm
13	150mm
16	200mm
20	300mm

【座屈した管は使用しない】

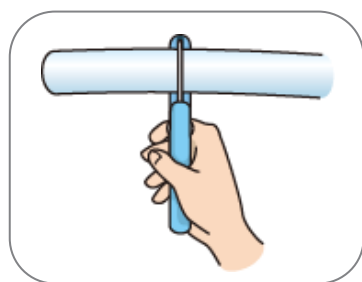
材質劣化により管寿命が短くなり、思わぬ
不具合を引き起こす可能性があります。



■ 施工上のご注意②__管の切断

《管の切断について》

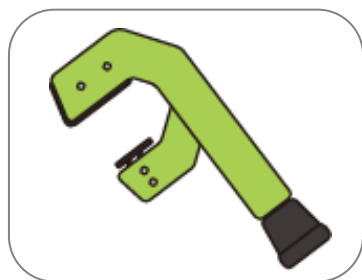
架橋ポリエチレン管は、ナイフ等の使用を避け『専用工具』で垂直に切断してください。



【切断例】



管をさや管に通管した場合は、必ず『さや管カッター』を使用して管に傷をつけないように注意してください。

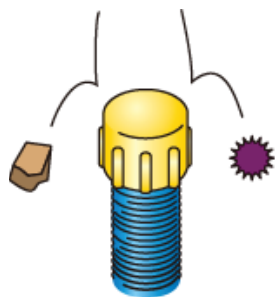


■ 施工上のご注意③__その他

《その他施工上の注意事項をご説明します》

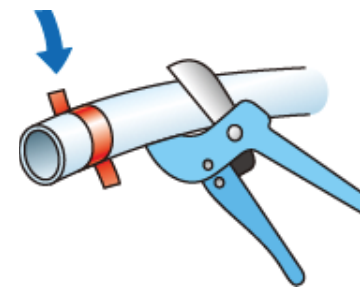
【ゴミ・異物が入らないよう注意する】

ヘッダー又は水栓器具を取り付けるまでに時間がある場合は、管内部にゴミ・異物が入らないように養生してください。



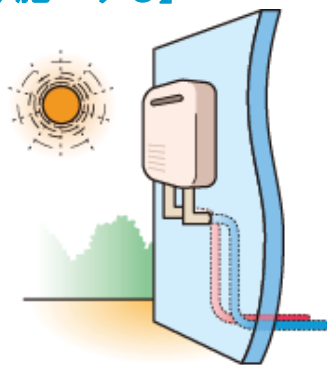
【ビニルテープ使用部分を破棄する】

管にビニルテープを巻いた部分は切断、破棄してください。



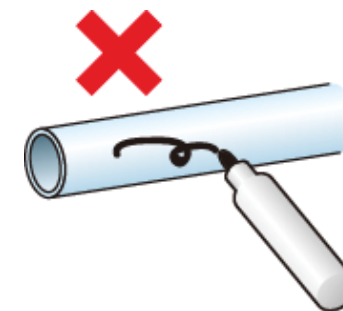
【直射日光を避け施工する】

直射日光の当たる場所に配管する場合は、直射日光の影響を受けないよう管を配管カバーなどで保護してください。



【溶剤・薬品の影響に注意する】

油性ペン、塗料など薬品の影響を受けないよう施工してください。管の劣化につながります。



取り扱い注意事項の詳細は架橋ポリエチレン管工業会発行の『架橋ポリエチレン管技術資料』に記載されています。よく読んで、正しくお使いください。

■ お問い合わせ先

架橋ポリエチレン管工業会

電話番号:042-516-9825

FAX番号:042-516-9495

Mail: info@jxpa.gr.jp

URL: <http://www.jxpa.gr.jp>



架橋ポリエチレン管工業会